

(27) 副産物と連産品

1. 副産物・連産品とは？

- ①副産物：主産物の製造過程から必然的に派生する物品のこと。
- ②連産品：同一原材料、同一工程から不可避免的に派生する異種製品で合って、その主服を相互に区別できないもの
※原価計算上は同様の減少と考え同等の処理を行う

- ・類似点は、どちらも同一原材料、同一工程から必然的に派生する異種物品であること
- ・相違点は、相互に主服の区別ができるものを副産物、できないものを連産品という

2. 副産物・連産品のパターン

原価計算方法	計算方法	処理方法	SHIN
副産物	評価計算	売却額を主産品原価より控除 在庫評価はせず、売却時に売却額を営業外収益(雑収入)	○
連産品	原価計算	結合原価計算一分離後は負担能力主義による等価係数で案分	○

3. 原価マスター

<副産物>

- ①標準原価マスター
・副産物は「控除金額」として予定売却額を設定しておく

製品:A0001	材料CD	単価	数量	工程歩留	調整後数量	控除	調整後原価
1. 材料費	XXX1	@100	3	0.9	3.3333333	50	283
	XXX2	@200	4	0.9	4.4444444	0	889
	XXX3	@300	5	0.9	5.5555556	0	1,667
							2,839

副産物売却単価

<連産品>

- ①標準原価マスター
・連産品は負担割合に従った投入原単位を「数量」に設定する

結合原価:X1	→	連産品番号	負担割合
(1単位)	→	連産品X1-1	3
	→	連産品X1-2	2
	→	連産品X1-3	1

部品:X1	材料CD	単価	数量	工程歩留	調整後数量	控除	調整後原価	原単位
材料費	XXX1	@100	3	0.9	3.3333333	0	333	
	XXX2	@200	4	0.9	4.4444444	0	889	
	XXX3	@300	5	0.9	5.5555556	0	1,667	
							2,889	円/kg

製品:X1-1	材料CD	単価	数量	工程歩留	調整後数量	控除	調整後原価	
部品費	X1	@2889	0.5	1	0.5	0	1,444	
							連産品X1-1原価	1,444 円/kg

製品:X1-2	材料CD	単価	数量	工程歩留	調整後数量	控除	調整後原価	
部品費	XXX1	@2889	0.333	1	0.3333333	0	963	
							連産品X1-2原価	963 円/kg

製品:X1-2	材料CD	単価	数量	工程歩留	調整後数量	控除	調整後原価	
部品費	XXX1	@2889	0.167	1	0.1666667	0	481	
							連産品X1-3原価	481 円/kg

4. 副産物のSHINの処理

<標準原価計算>

- ①標準原価計算(副産品原価を主産品原価より控除する方法)
 - (1)原価集計処理(随時):
 - ・完成をそれぞれ完成入庫処理する
 - ・原価データ作成は「調整後原価」で作成する
※これによって仕掛品・製品における主産品の原価より副産物評価額が控除される
※一方、副産物自体は売却はされていてもいなくても、在庫評価は行わない
 - (2)副産物の売却時(随時):
 - ・雑収入(営業外収益)の処理を別途行う
 - ・主産物より副産物原価は評価減済みなので、雑収入を取消し売上原価と相殺する
雑収入/原価振替(売上原価)
- ②標準原価計算(雑収入のみ計上する方法)
 - (1)原価集計処理(随時):
 - ・完成をそれぞれ完成入庫処理する
 - ・原価データ作成は「調整後原価」(控除金額0)で作成する
※仕掛品・製品における主産品の原価から副産物評価額控除はない
※一方、副産物自体は売却はされていてもいなくても、在庫評価は行わない
 - (2)副産物の売却時(随時):
 - ・雑収入(営業外収益)の処理を別途行う

<実際原価計算>

- ①実際原価計算(オプション)(副産品原価を主産品原価より控除する方法)
 - (1)原価集計処理(随時):
 - ・完成をそれぞれ完成入庫処理する
 - ・副産物の売却時点で雑収入(営業外収益)の処理を行う
 - ・上記雑収入(営業外収益)に関し原価振替処理を行う
雑収入/原価振替(売上原価)
 - (2)実際原価計算(オプション)(雑収入のみ計上する方法)
 - (1)原価集計処理(随時):
 - ・完成をそれぞれ完成入庫処理する
 - ・副産物の売却時点で雑収入(営業外収益)の処理を行う

5. 連産品のSHINの処理

<標準原価計算>

※標準原価マスターの設定以外は通常通り

<実際原価計算>

※カスタマイズ対応